

Domaine Thymiopoulos

ドメーヌ・ティミオプロス

地域: Naoussa

オーナー: Apostolos Thymiopoulos アポストロス・ティミオプロス

地区、村: Macedonia, Trilofos マケドニア トリフォロス村

醸造・栽培責任者: Apostolos Thymiopoulos アポストロス・ティミオプロス

HomePage: <http://www.thymiopoulosvineyards.gr/>



創業年: 2004 年

ドメーヌ解説:

アポストロスの父セルジュはナウサエリアで最も有名なブドウ栽培家として知られていた。セルジュは 4ha の畑から得られたブドウは全て、ナウサのブターリ・ワイナリーに売っていた。2004 年、息子のアポストロスが醸造学校を卒業後に栽培を引き継いで醸造を始め、徐々に近隣の畑を買っていきながら現在では 23ha のブドウ畑を持っている。

北西から南東に 34km のびるナウサ地区は石灰質土壌の丘陵地で、地区の東側は平野が広がっており桃の栽培が盛ん。地下水脈や小川が地域一帯にあり、ナウサの町の中にもとても大きな滝がある。ナウサ地区の中はいくつかの丘に分かれており、ドメーヌ・ティミオプロスではそのうちの小さな丘のほぼすべてのブドウ畑を所有している。

ドメーヌ・ティミオプロスでも新しいセラー造りが計画されている。現在のセラーは年間 12 万本も生産しているとは思えないほど小さなセラーで、大きな醸造機器が所狭しと並んでおり、その隙間に小さなタンクが置かれているという状況。もし新しいセラーが出来れば広さは 3 倍になり、現在はワンフロアしかないが、更に地下部分ができるので作業もしやすくなり、ボトル詰めを適切なタイミングで行い保管することが出来るようになる、とアポストロスは言う。完成は 2015 年の予定。(2015 年 9 月 6 日現在、建設中)

セラーから歩いて 5 分のヴラナペトラと呼ばれる畑は植えてまだ 8 年で、最初の数年間だけ耕作をしたが、株がある程度育った現在は不耕作。キャンピー・フリー。

畑について

栽培方法: ビオロジック、バイオダイナミ

(ただし、現在ギリシャにはバイオダイナミの認証団体がいないため、独自に行っている)

-その栽培方法の開始時期: 2004 年

-その栽培方法を適用している畑名: 全ての畑

認証機関: GREEN CONTROL

土壌: トリローフォス Trilofos: 石灰岩

ファイチャ Fytia: シスト、花崗岩(赤、緑、ダーク)、水晶(石英)

微気候: 暑い夏の間でも、ヴェルミオ山から吹き降ろされる冷たい風により、一定の温度が保たれ、また、一年を通して分散した少量の雨が降る。

自社ブドウ畑面積(ha): 28ha

契約ブドウ畑面積(ha): 0

自社ブドウ畑の数(ヶ所): 16 か所

自社栽培ブドウ品種:クシノマヴロ

ブドウ以外の自社農作物: 桃、ネクタリン、プラム

ブドウ畑以外の自社畑総面積(ha): 9ha

主な仕立て方法:コルドン・ロワイヤル

堆肥: 糞、自社畑の枯葉からつくる肥土

醸造について

酵母のタイプ: 自然酵母(2009年から)

压榨方式: 空気圧式プレス

醗酵容器の素材と容量(L): ステンレス(INOX): (3000L、5000L、10000L、15000L) オークバレル(225L、500L)

熟成容器の素材: オークバレル(25%225L、 75%500L)

セラー環境: 発酵は地表のセラー。 ワイナリー内に 地下一階と地上階 のセラーがある。

年間生産ボトル本数: 130000-140000 本